
ポスト

ホープ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ポスト

【Nコード】

N4282N

【作者名】

ホープ

【あらすじ】

恋愛小説です。ポストを使った恋愛話にしてみました。

「ゆま、返事かいたよ。手紙ちゃんとみるんよ?？」

ポスト

1980年代後半いま思えば、あんなに恋愛しにくかった時代があったんだなと笑える。この頃は、携帯電話なんて無かったから、家の電話とか手紙が主流だったよな。

いまから24年前??

「ひろゆき」2階から見下ろすと家の前にもう夜の中の夜（深夜）に、俺の大好きなゆまがいる。

「なんじゃい。いま勉強中じゃい。」

「手紙もってきたのに?? いらないんだ??」

「いるいる。親にバレるけえはよ投げい」

「とどかんもん。ポストに入れとくから。返事はよ書いてよ」

「おいっ、気を付けえよ」

この頃って交換日記とかも流行ってたけど、こうやって渡し合いみ

たいな方が二人で秘密を共有してるようでなんか俺たちはよかった。手紙の内容は口で話せばいいような事だったけど、この感じが良かった。

次の日の朝

学校にいく途中でまた聞きなれた声。でもいつもとは違う様子だった。

「ひろゆき」

「そんげ走らんでも俺は逃げんわい。」

「今日さ大事な話があるんだけど、今日は部活あんの??」

「大会前やけえ夜遅うまである。話して何?」ちなみに、その頃おれは野球をやってた。

「うゝん??分かった。じゃまたポストに入れとく。」

「わかったって、まあ楽しみにしとくわ。」

でも俺は見ることはなかった??いまでも後悔してるんだ??ゆま。しょうがなかったんだ。部活で疲れてたし、その日はたまたまポストを見なかっただけなんだ。

「ひろゆき昨日の手紙みた??」

「ごめん、疲れとってさ今日帰ったら見るけえ」

「もう！！ちゃんと見とってよ。」

「分かったけえ。そんげ怒るなって。」

「帰ったら見るんよ。ぜっーたい見るんよ。」

「おおっ？？そんげ顔近付けんでも。みる。絶対見るけえ。」

「分かりやいいんよ。返事まっとするから。」

「おうっ、じゃあな。」

ゆま、いまだに俺は返事を書き続けてる。届かないことは分かっ
てても止まらないんよ？？

いまは簡単に気持ちを伝えられる時代になったんぞ。？？？
そんげな事は

どうでもいいか。

ゆま。

俺も好きだよ

俺はポストに手紙を入れた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4282n/>

ポスト

2010年10月9日13時09分発行